



Shimotsuke English Journal (SEJ)

Vol. 37

H30.10.11

今月のキーワード

しもつけ未来学習

とちぎっ子学習状況調査

後期が始まり、子どもたちも心機一転、新たなスタートが切れたことと思います。

今回は、来年度から始まる「しもつけ未来学習」についての紹介、また前回に引き続き「とちぎっ子学習状況調査」の結果分析（市全体）について掲載しましたので御一読ください。

しもつけ未来学習（小1・2年生）

「しもつけ未来学習」は、ふるさと学習を取り入れた英語の学習を通して、自己表現力や発信力を育成していくことを目的としています。現在、小1～中3までの児童生徒が使用するテキストを英語教育推進プロジェクト委員会で作成しているところですが、今回は、小学校1・2年生の活動を紹介したいと思います。

小学校1年生では、「えいごでじこしょうかいをしよう①」と、「アルファベットをさがそう①」（持ち物など、身の回りの物からアルファベットを探す活動）です。

活動の目的：日本語と違う文字に気付くこと

活動時間：授業の導入場面等

活動例：「自分の持ち物からアルファベットを探そう」
→「アルファベット26文字の中で、いくつ見付けることができましたでしょう」などの活動へ

小学校2年生では、「えいごでじこしょうかいをしよう②」（好きな食べ物や色などを紹介する）と「アルファベットをさがそう②」（自分の住んでいる地域からアルファベットを探す活動）です。地域に目を向けることで、ふるさと学習にもつながると考えました。

1・2年生ともに、日本語とは違う文字（アルファベット）に気付く活動ですので、書き写すなどの活動は想定していません。写真やパンフレットの切り抜きを貼ることができるよう、自由に使えるページも入れる予定です。

ゆうがお CAFÉ では、しもつけ未来学習の活動を使った研修を取り入れています。先生方とアイデアを共有していきたいと思いますので、是非足を運んでください。（今月は10月30日に実施します。）



<テキストイメージ>

1年生

えいごでじこしょうかいをしよう①

えいごでいえるかな
じぶんのなまえ
しゅっしんち
ねんれい

アルファベットをさがそう①

もちものに かいてある
アルファベットを
さがしてみましよう。

2年生

えいごでじこしょうかいをしよう②

えいごでいえるかな
すきなたべもの
すきないろ

アルファベットをさがそう②

じぶんのすんでいるちいさな
アルファベットはつかわれて
いますか。

とちぎっ子学習状況調査より



今回は「①県平均よりも正答率が下回った問題」について掲載しましたが、今回は「②市全体の平均正答率が低かった問題」について紹介します。

② 市平均正答率が低かった設問（設問7 長文の読み取り）



●設問7 長文の読み取り問題

Keiko and Meg are talking in Keiko's room.

Keiko : Meg, look at these pictures.

Meg : They're beautiful! Are these whales?

Keiko : Yes. They're very big. We saw them from a ship at Okinawa.

I went there last month.

Meg : I see. Who is this boy in the picture?

Keiko : He's my brother, Kenta. He lives in Okinawa from last April.

Meg : Your brother? What does he do there?

Keiko : He's a student at university. He studies about animals of Okinawa.

Meg : Then he knows about whales.

Keiko : Yes. By the way, today, January 28, is his birthday.

Meg : Oh, really? Happy birthday to him! Did you send anything for his birthday ?

(以下4文省略)

(2) 対話文の内容についての質問の答えとして、最も適しているものを選ぶ問題 ※ () は市回答率

Q: When did Keiko go to Okinawa?

1 In January (26.0%)

2 In February (5.5%)

3 In April (43.4%)

4 In December (24.2%) 正解

○分析・考察

- ・誤答は3が一番多かったことから、単語の読み間違いや質問の内容を理解していなかったこと、時系列に沿って会話の内容を正確に理解していなかったことなど、原因は複数考えられる。
- ・まとまりのある英文を読んで、時系列や内容について正しく理解する力を身に付けるためには、5W 1Hを意識したQ&Aを日頃の授業において取り入れたり、読む前に発問をしてから英文を読ませたりするなど、読み方指導の工夫が考えられる。
- ・読んだ内容について、分かったことを生徒同士で伝え合うなど、インプットしたこと(読む)をアウトプットする(話す)ことも、思考力の育成へとつながる。また、生徒同士で質問を出し合うことで「聞く」「話す」活動にもなる。
- ・全体のあらすじや大切な部分を読み取る力が身に付いているかどうかを確認するために、単元末などに教科書以外の文章に触れる機会を意図的に作ることも効果的である。



10月7日(日) 実用英語技能検定を市役所で実施しました。市役所会場での受験申込者数(3級以上)は、合計56名でした。お世話になりました。 文責：学校教育課 稲葉亜希恵